

自由記述意見の庁内利用について

<現状>

市民生活実感調査結果の集計後、自由記述意見のトピックを抽出し、意見を所管局別に振り分けた後、１２月～１月頃に各局に送付している。

<改善案>

市民生活実感調査結果の集計と並行し、速やかに自由記述意見のトピックを抽出したうえで、全ての意見についてイントラネットに掲載することで情報共有を図り、各局における企画立案等の参考資料として活用する。

(参 考)

「平成２０年度 京都市市民生活実感調査」における自由記述意見の状況

総意見数：８１５件（アンケート総数に占める自由記述意見の記述率：５４．８％）

<意見が多かった分野>

順位	分野	件数 (全体に占める割合)	主な意見
１	職員	９３（１１．４％）	対応の悪さ、給与や職員数の見直し、仕事への取組姿勢
２	環境	８２（１０．１％）	ゴミ袋収入の使途について、ゴミの出し方のルール徹底、カラス被害
３	交通	７７（９．５％）	路線の拡充、市バス、地下鉄の乗り継ぎの悪さ、バス停の分かりにくさ
４	教育	６３（７．７％）	学校施設の地域格差、生涯学習の充実、マナーの教育
５	道路	６２（７．６％）	歩道や段差の整備、道の狭さ、自転車道の整備
６	不祥事	６０（７．４％）	処罰の厳罰化
７	高齢者	５８（７．１％）	雇用、訪問介護、バリアフリー
８	子育て	５５（６．８％）	子どもの遊び場、保育園、子育て支援政策の充実

(参考) 平成１９年度における主な意見について

総意見数：５０２件（アンケート総数に占める自由意見の記述率：５１．６％）

- １ **環境** （７７件）（１５．３％） ゴミ袋の有料化、ゴミ分別、車の排気ガス
- ２ **道路** （７４件）（１４．８％） 道路の段差、渋滞の緩和、路上駐車取り締まり
- ３ **交通** （６３件）（１２．６％） 公共交通機関の不便さ、料金、案内標識の整備
- ４ **景観** （５４件）（１０．８％） 高層建築物の規制、景観条例
- ６ **不祥事** （４０件）（８．０％）
- ７ **教育** （３４件）（６．８％） 学力格差、学校間の施設整備の格差
- ８ **職員の対応** （３３件）（６．６％） 市役所・区役所職員、市バス運転手の対応の悪さ
- ８ **子育て** （３３件）（６．６％） 保育園・子供の遊び場の不足、子育て支援の充実